



日本共産党 品川区議会議員 区政報告 のだて 稔史

区政報告について
ご意見、ご要望を
お寄せください。

事務所：品川区豊町6-2-1 Tel：03-3786-6674
区議控室：品川区広町2-1-36 Tel：03-5742-6818

区議会一般質問



平和・暮らし支援、気候危機打開、 戸越公園駅周辺まちづくり



抑止論とは真逆。区は
を捨てよ」とあり、核

い。持てる国は、即時に核兵器
兵器で使われなかったものはな
品川の宣言には「開発された
定。被爆者の願いは核廃絶です。
被爆地・広島でG7サミット
を開催。しかし、広島ビジョン
は核で相手を脅す核抑止論を肯
定。被爆者の願いは核廃絶です。

軍事より生活の支援を

9月22日に私・のだてが品川
区議会一般質問を行いました。
概要を紹介します。



▲品川区の姿勢を質しました。

抑止論とは真逆。区は
を捨てよ」とあり、核
何も答えませ
んでした。

「軍事費拡大が福祉を削減し、
大増税につながり、区民の生活
に悪影響を及ぼすとは考えてい
ないのか」と質問。区は「国に
おいて議論されるべき」と答弁。
区民生活への
影響について

宣言の立場で国を質すべきです。
さらに岸田自公政権は軍事費
2倍化を推進。防衛省は来年度
の軍事費7.7兆円を概算要求。
10年連続増額で過去最高を更新。
自公政治の下で賃金は上から
ず経済成長もできない社会に。
さらにコロナ禍や物価高騰で生
活は困窮。そこに軍拡のために
年金や医療など社会保障費を削
り、その上インボイス導入で更
なる負担増。住民の生活が大変
な時に、税金を軍事費に使って
いる場合ではありません。



非核平和都市品川宣
言のホームページ

のだて稔史プロフィール

1985年品川区生まれ、38歳。八潮北小、八潮中、都立雪谷高校、東洋大学工学部建築学科卒。建築設計事務所で6年間働く。2015年4月初当選。戸越5丁目在住。家族は両親と兄。シブリ映画、バドミントン、テニスが好き。

本気で再エネと省エネを

国連事務総長は「地球温暖化の時代は終わり、地球沸騰化の時代が到来した」と宣言。今夏、東京都心は猛暑日が22日、真夏日が88日で過去最多に。みなさんも日々気候危機を実感したのではないのでしょうか。更に温暖化が進み取り返しがつかなくなる前に本気の取組みが必要です。世界ではコロナ禍からのグリーンリカバリーに向けて、再エネと省エネを推進する政策を強化。しかし、岸田政権は石炭火力を温存・拡大し、原発に固執。持続可能な社会に逆行しています。「原発と石炭火力発電の中止を国に求めるべき」との質問に、区は「国の責任により行われるべき」と答弁。

また、住宅への太陽光発電設置促進へ「既存助成の増額と合

わせ、既存住宅への設置に必要な建物補強工事も助成対象に」との質問に、区は増額について

「需要等を踏まえ検討」と、補強工事は「耐震補強の助成はある。実際は後づけで構造を補強するのは非常に難しい」と答弁。

省エネのために断熱も重要。2025年からは高断熱が義務化されますが、早く対応しなければ断熱性能が低い住宅が建つてしまいます。「高断熱住宅を増やすために断熱化助成の強化を」との質問に、区は「断熱化は普及しているので行う予定はない」と答弁。

どの答弁も積極的に気候危機打開に取り組む姿勢が見られませんでした。住民への啓発を含め自治体から積極的に取り組むことが必要です。



企業のためでなく 住民のためのまちづくりを

戸越公園駅周辺は開発事業の矛盾の集中点になっています。

駅前では23階建てのタワーマンションが建設中。今年度22億円の税金が投入される予定。最終的には43億円になる見込み。

超高層を可能にしたのが、幅20mの29号線道路。幅が広いと高いビルが建てられます。税金投入は600億円の予定。駅周辺の商店街も壊されます。

「まち壊しの29号線や戸越公園駅周辺の超高層再開発は中止すべき」との質問に、区は「引き続きまちづくりを支援する。都へ29号線の中止を求める考えはない」と答弁。開発企業のも

うけの為ではない住民のためのまちづくりが必要で



質問の全文はこちらから▲

日本共産党

11月14日(火) 午後6時~8時

会場: のだて稔史事務所 豊町6-2-1

お気軽にご相談下さい。弁護士と一緒にお話を伺います。

できるだけ事前にご連絡下さい。TEL 3786-6674

無料
法律相談